

地域理解の促進に向けた取組について

地域連絡協議会の開催

①協議会の趣旨

地域住民に、感染症研究拠点整備に関する検討状況に関して情報提供を行うとともに、地域住民の安全・安心の確保等について協議をするため、長崎県・長崎市・長崎大学による協議会のもとに地域連絡協議会を設置。

②地域連絡協議会の構成員(令和4年3月11日時点)

1. 近隣連合自治会長・自治会長(7名)

- (1) 石田 和典 高尾地区連合自治会長
- (2) 梶村 龍太 平野町山里自治会長
- (3) 久米 直 山里地区連合自治会長
- (4) 末吉 征志 本尾町自治会長
- (5) 田中 通孝 江平自治会長
- (6) 道津 靖子 山里中央自治会長
- (7) 内藤 勉 平和町自治会長

2. その他地域住民等(5名)

- (8) 神田 京子 公募委員
- (9) 塚原 千幸人 公募委員
- (10) 寺井 幹雄 公募委員
- (11) 原 拓也 公募委員
- (12) 藤原 義博 公募委員

3. 学識経験者・専門家(7名)

- (13) 泉川 公一 長崎大学病院感染制御教育センター長・医歯薬学総合研究科教授
- (14) 加藤 純 長崎都市経営戦略推進会議事務局長
- (15) 高藤 義弘 日本労働組合総連合会長長崎県連合会長
- (16) 福崎 博孝 弁護士
- (17) 森崎 正幸 長崎県医師会長
- (18) 山下 肇 ○ 弁護士
- (19) 吉田 文彦 長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授

4. 行政(2名)

- (20) 伊藤 幸繁 長崎県福祉保健部医療政策課長・参事監
- (21) 山口 英俊 長崎市市民健康部地域保健課長

5. 長崎大学(7名)

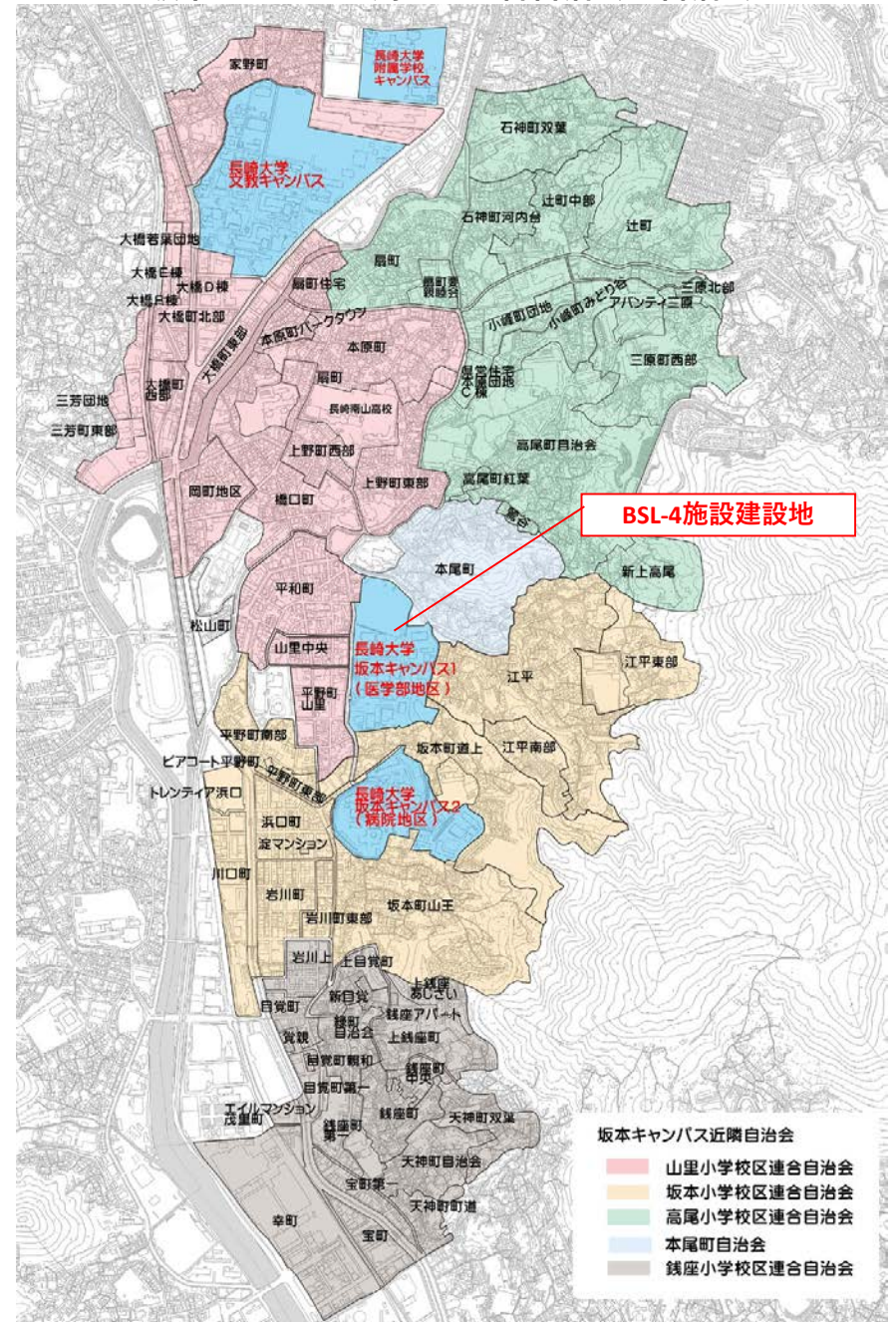
- (22) 調 漸 ◎ 長崎大学感染症共同研究拠点副拠点長・特命教授
- (23) 安田 二郎 長崎大学感染症共同研究拠点高度安全実験(BSL-4)施設設置準備室長、研究部門長・教授
- (24) 南保 明日香 長崎大学感染症共同研究拠点人材育成部門長・教授
- (25) 中嶋 建介 長崎大学感染症共同研究拠点施設・安全管理部門長・教授
- (26) 深尾 典男 長崎大学感染症共同研究拠点地域連携部門長・教授
- (27) 渡部 康一 長崎大学感染症共同研究拠点総務部門長・教授
- (28) 森田 公一 長崎大学熱帯医学研究所長・教授

(◎は議長、○は副議長)

③ 開催実績

開催日	回数	主な議題
H28年5月12日	第1回	BSL-4施設設置計画
6月 2日	第2回	ウイルスの特徴、立地の地価等
6月30日	第3回	施設の安全対策、施設のリスク対策等
7月13日	第4回	国の関与、立地の安全性等
8月 3日	第5回	委員からの質問・意見
8月31日	第6回	委員からの質問・意見
9月 9日		国立感染症研究所の視察
9月27日	第7回	委員からの質問・意見
12月25日	第8回	委員からの質問・意見への回答
H29年2月17日	第9回	基本構想、熱研における病原体の安全管理状況、委員からの質問・意見への回答
5月23日	第10回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
7月4日	第11回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
8月22日	第12回	基本構想とりまとめ、委員からの質問・意見への回答
12月20日	第13回	基本構想、諸外国のBSL-4施設、安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
H30年2月9日	第14回	基本構想の印刷・配付、委員からの意見書、委員からの質問・意見への回答、平成30年度予算政府原案、安全確保上考慮すべき事象
3月18日	第15回	前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答、安全確保上考慮すべき事象
5月8日	第16回	安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
6月29日	第17回	BSL-4施設の設計概要、前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
7月20日	第18回	委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントに基づく対応、建設までの主な工程
8月10日	第19回	委員からの質問・意見への回答
9月28日	第20回	BSL-3実験室からの排気検査結果、リスクアセスメントに基づく対応、緊急時の対応、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第21回	第20回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
11月14日	第22回	今後のスケジュール・委員からの質問・意見への回答
12月19日	第23回	委員からの質問・意見への回答
H31年2月6日	第24回	今後のスケジュール、平成31年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
R元年5月14日	第25回	今後の審議事項、建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
7月17日	第26回	建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
9月27日	第27回	建設工事の状況、地域説明の予定、監理委員会や予算要求の状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則の検討

坂本キャンパス周辺の連合自治会・自治会



開催日	回数	主な議題
R元年11月19日	第28回	建設工事の状況、説明会等の実施状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則・教育訓練
R2年2月7日	第29回	建設工事の状況、地域連絡協議会の報告会、令和2年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
8月21日	第30回	建設工事の状況、令和元年度予算の執行状況、監理委員会報告、研究棟の建設計画、委員からの質問・意見への回答
8月25日	第31回	委員からの質問・意見への回答
10月14日	第32回	建設工事の状況、令和3年度概算要求、ロードマップ2020の採択、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応①（陽圧防護服）
12月18日	第33回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応②（実験者の管理、実験内容の確認及び地域への伝達）
R3年2月12日	第34回	建設工事の状況、令和3年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③（廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理）
3月17日	第35回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③（廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理）
5月31日	第36回	研究棟建設工事の状況、令和2年度予算の執行状況、監理委員会報告、委員からの質問・意見への回答、施設設備の維持管理及び緊急事態への対応
6月2日	第37回	実験棟視察の事前説明、実験棟視察、質疑応答
7月19日	第38回	研究棟建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第39回	研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答
R4年1月12日 (延期)	第40回	研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答



委員会場（新型コロナに配慮して、会場参加とオンライン参加を併用して開催）



傍聴会場（一般傍聴者・報道関係者）

※第40回はR4.1.12に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染者の急増に伴い延期。3月23日に開催予定。

地域連絡協議会の開催
【平成28年度からこれまで39回開催】

④ 前回監理委員会以降の開催状況、議題及び主な質疑等

○令和3年3月17日 第35回

【議題: 建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③(廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理)】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
リスクアセスメントを踏まえた対応の説明や資料をもとに実験の際に確認が必要となるチェックリストをまとめてみた。	客観的な視点として参考となり得る。実際に施設で使用するチェックリストは、今後何度も修正を重ねて作成し、それによる教育訓練等を経て練り上げていきます。
ウイルスのサンプルを他の実験室へ移す際の不活化の手段や安全対策について教えてほしい。	確実に不活化するための処理方法や確認の手順を定めそのとおりに実施します。さらに実験終了後は最終的に高圧蒸気滅菌器にかけて滅菌するため確実に不活化されることとなります。
実験後の廃棄物は滅菌して産廃業者に引き渡されマニフェスト付きで処分されるということだが、業者がきちんと処分したかなどを大学でチェックしないのか。	廃棄物処理の法律に基づき適正な手続で行われた結果として、マニフェスト伝票が作成され大学に戻ってくるようになっており、途中で大学が介入して個々に確認することは考えていません。

○令和3年5月31日 第36回

【議題: 研究棟建設工事の状況、令和2年度予算の執行状況、監理委員会報告、委員からの質問・意見への回答、施設設備の維持管理及び緊急事態への対応】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
監理委員会で住民からの要望書とアンケート結果のことを報告し、委員からも意見を頂くことができ、ありがたかった。	(文科省)長崎大学から非常に細かく丁寧に説明したことで、委員の理解が進み、色々な意見が頂けたと思っています。
万が一、感染事故が発生した場合の対応策として、大学、県、市による危機対応を迅速かつ確実にを行うための事故対策組織が必要ではないか。	事故・災害等が発生した際の緊急時の対応について、今後より具体的に検討を進めていく中で、事故対策のための組織設置の必要性についても検討します。
長崎市地域防災計画の中に感染症に関する対応手順などを定めることはできないか。	(長崎市)地域防災計画は災害対策基本法に基づき作成しており、その中に感染症を含めることは難しく、それとは別に対応方法をとりまとめていく必要があると考えます。

○令和3年6月2日 第37回

【議題:実験棟視察(事前説明、視察、質疑応答)】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
今まで疑問に感じていたことがあったが、実際の施設を見ながら説明を聞いて、ストンと理解できる場所があり、すごく良かった。	
実物を見て、安全安心に配慮したセキュリティ対策がなされていることがよくわかった。あとはソフト面やヒューマンエラーへの対応について、二重三重の対策をお願いしたい。	
建物に関する事故が起きるとは考えにくく、針刺しやスーツが破れるなどの事故が起きる確率の方が高いのではないか。	これまで海外の施設では、スーツの破損や針刺しなどの事故は起きており、これを踏まえてエッジがない機械を設置したり、厚めのスーツを選択したりしています。
避難経路等を書いた案内図が無くてよいのか。どこにいるのか分からなかった。	建物の構造を熟知しトレーニングを積んだ者でないと施設の中には入れないので、どこまでのものが必要かを今後詰めていきたい。
外国製の設備について、メンテナンスにすぐに来てくれる国内の業者はあるのか。	国内に支店があり、そこと連絡をとることになります。

○令和3年7月19日 第38回

【議題:研究棟建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
施設内を視察し、ハード面で一番心配していた感染動物が逃げ出すことは不可能な構造になっていたこと、問題はヒューマンエラーやテロであると感じたことなどを自治会の会合の場で報告した。	
これまでの議論を踏まえた安全のためのマニュアルはいつ示されるのか。全てが難しければ少しずつでも示していただきたい。	安全管理規則等の案は、これから実験棟における検証作業を進めながらとりまとめを進めるため、いつとは言いがたいが、段階的にお示しできればと考えています。
緊急時の住民への情報伝達のイメージが示されたが、市民に対する積極的な姿勢が見えてこない。	(長崎市)伝達手段や方法について、事象等を踏まえて大学と協議をしながら検討を進めたい。 (大学)県・市・大学の三者で意見交換し、緊急時に有効に機能する仕組みを検討し、協議会に示したい。

○令和3年10月26日 第39回

【議題：研究棟建設工事の状況、長崎県・長崎市・長崎大学による緊急時の対応に関する検討状況、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
県・市・大学による検討状況の報告は漠然として三者の関係性がわかりにくい。関連する機関などとの関係等を図式化して欲しい。	ご意見を踏まえてさらに検討を進めてまいります。
BSL-4実験室への入室を許可するための教育訓練の内容について確認したい。	実験棟に入館する者には全員に座学教育を受講させるが、入館目的により教育訓練の内容は異なる。BSL-4実験室で実験を行う者は全ての教育訓練を受講する必要があります。
協議会の傍聴希望者に対する開催案内のホームページ掲載時期を早めてほしい。	できるだけ早期に掲載することといたします。
排気、排水系統についてデータ集中管理システムであるテレメーターシステムで24時間体制で監視することを提案する。	実験室で取り扱うウイルス等の病原体は、ダイオキシンなどの化学物質、や放射性物質とは完全に異なる性質のものであり、それに適した方法での安全管理のモニタリングが法律で定められています。その方法で排水、排気の管理を行うことにより、十分な安全が担保できると考えています。

地域理解活動(最近の活動状況)

○地域住民を対象とした説明会等

令和3年 住民説明会 実施なし

令和4年1月15日(土)19:30~20:00 本尾町自治会役員会 ⇒ **延期**

令和4年2月 7日(月)19:30~20:00 平和町自治会役員会 ⇒ **延期**

○関係団体を対象とした説明会

令和3年5月19日(水) 報道機関向け勉強会 11社 12名

- ・これまでの主な経緯
- ・地域理解に向けた取組
- ・BSL-4施設とは
- ・BSL-4施設の安全対策



○BSL-4施設の竣工・引き渡しについて学長による記者発表

令和3年7月29日(木) 12社23名(新聞7社 TV局5社)

- ・学長挨拶
- ・実験棟竣工までの経緯
- ・実験棟の概要
- ・施設稼働までの流れ
- ・感染症研究拠点



○BSL-4施設等の視察・見学等

令和3年6月2日(水)~令和3年11月29日(月)まで
通算29回実施。

対象は、地域連絡協議会委員他、医療・経済団体、
自治会長、学内関係者、市・県議会、国会議員など。



地域理解活動(最近の活動状況)

○地域イベントへの参加等

- ・令和3年3月24日(水) 天主公園オープニングセレモニー
- ・令和3年12月11日(土) 平和と祈りのクリスマスコンサート
& イルミネーション点灯式

地域の商店街や自治会の方々と一緒にイベント運営スタッフとして参加。イルミネーション点灯式には来賓として調 副拠点長、深尾部門長が参列した。



天主公園オープニングセレモニー



クリスマスコンサート
& イルミネーション点灯式

○市民向け公開講座等

- ・令和3年5月22日(土) 14:00~15:30
市民公開講座「新型コロナは終わりになき戦いか？」
講師：安田二郎 教授
オンライン開催のみ 参加 92アカウント 約100名
- ・令和3年7月11日(日) 13:00~15:00
熱研夏塾(主催:熱帯医学研究所 共催:感染症共同研究拠点)
オンライン開催 100枠限定
- ・令和3年7月31日(土) 17:00~18:30
市民公開講座「ウイルス入門~そもそもウイルスとは何か?~」
講師：柳 雄介 拠点長
オンライン参加 88アカウント 会場参加 34名



○刊行物

令和3年4月 BSL-4 Report Vol.4 7,000部発行
ポスティング 約4,000部(隣接6自治会)
公共施設、その他の自治会、関係機関等に配布、回覧
3,000部

